



人権啓発紙

輝きびと

R7.7.1

No.
125

発行者 大津市政調整部
人権・男女共同参画課
TEL 528-2791・FAX 527-6288

特集記事：山岸ななえさんインタビュー

第48回
(令和6年度)

わたしと人権 特選作品



上田上幼稚園 4歳児(当時)
大林 花瑠さん
「かえるのかぞくがあそんでいよ」



瀬田東小学校 1年(当時)
藤森 律花さん
「くじらぐもにのって」



瀬田小学校 3年(当時)
宮田 紗羽さん
「地球を笑顔で
いっぱいになろう」



ポスターの部



堅田幼稚園 4歳児(当時)
清水 樹さん
「おひさまにここに みんなにここに」



志賀小学校 1年(当時)
仲間 花音さん
「たんぼぼになりたいくて」



詩の部

あいさつ

木戸小学校 5年(当時)
堀澤 梨花さん

あいさつをしなかった
すこし気がのらなかったから
友だちはあいさつをしてくれ
でも私は返さなかった

悲しいだろうな、私は思った
そして一時間目がはじまった
いまはすこしおちついてい
5分休み

「あのさ」私は友だちにそう言った
「おはよう」

私も、友だちも笑顔だった

うれしいうつぱ

坂本小学校 1年(当時)
横山 晴穂さん

さそってくれるおともだちがいるよ
いつもあそぼっていつてくれるよ
さそってくれるってうれしいね

まい日学校にいくときに
ままとぼがいつてらっしゃいつて
いつてくれるよ
いつてらっしゃいつてうれしいね

まい日学校たのしいよ



気持ちのバトン

小野小学校 3年(当時)
吉本 晁音さん

わたしの気持ちが
みんなにつたわって
みんなの気持ちが
みんなにつたわって
そんな世界が
わたしは好き





「性教育って、恥ずかしいとかタブーに思われがちですが、もっと楽しくポジティブに学べるんです」 穏やかな口調でそう語るのは、大津市を拠点に活動する山岸ななえさん。教員として特別支援学校に勤務した経験を経て、現在はフリーの講師として地域やNPOと連携しながら、包括的性教育※1を伝える活動に取り組んでいる。



今号の特集は、地域で“輝くひと”に
スポットライトを当てて、お話をお聞きました。

「恥ずかしい」ではなく 「自分を大切にできる」性教育



Special
Interview



山岸 ななえさん

東京都や神奈川県にて教員を経験し、現在は子どもや保護者、教員へ向けた性教育講座を開催。滋賀県プレコンセプションケア講師派遣事業の登録講師としても活動中。
mail : yamagishi7.hug@gmail.com

ハーブティーから始まる授業

大学時代のボランティア活動をきっかけに、障害のある子どもたちの教育に関心を持ち、特別支援学校の教員になった山岸さん。主に知的障害のある高等部の生徒を担当し、専門教科である国語科と同様に力を入れていたのが、性教育だった。はじめは、性に関するトラブルへの対処として行っていた性教育だったが、次第にどの生徒にも必要な学びであると強く感じるようになった。

「生理や恋愛などの身近な性の話題から、思い描く人生設計まで、安心して話せて学べる経験が生徒たちの自信につながり、社会の中で自分らしく幸せに生きていく土台になる」と実感した。性に関する知識だけでなく、「自分の体を大切にする気持ち」や「人と気持ちを通わせるコミュニケーションの力」などを、手探りで生徒とともに学び合う授業を重ねた。

生理痛を和らげるハーブティーを入れてお喋りをしながら、体の悩みや恋人との付き合い方などを教員と生徒が一緒に考えていく授業もあったとか。最初は恥ずかしがっていた生徒も、「先生、次はどんなテーマの授業？」と声をかけてくれるようになった。消極的だった同僚も、授業の回を重ねたリ教材と一緒に作成したりするごとに、学びが共有され深まってくることが楽しかった。



年齢に関係なく、全ての人に届けたい学び

その後、大津市へ移住し教職を離れたが、自分の子どもにも伝えたいという思いで自ら包括的性教育を学び始めた。「学ぶ中で、性教育は思春期の子だけでなく、幼いころから伝えたい学びがたくさんあると気付きました。また、自分自身が過去に二次性徴やジェンダーで悩んだ経験が癒されていくことも感じ、年齢を問わず多くの人と共有したいと思うようになりました」。

このような思いを届けるために、現在は、NPO法人 YUMEMURA※2と協同した講座を軸に、個人の講師としても地域の学校や園、子育てサークルなど、幅広い場面で活動している。保護者や教員などの大人向けの講座では、日常生活にすぐに取り入れられる伝え方や、子どもと一緒に読みたい絵本の紹介など、その日だけのイベントでは終わらない実践的な工夫が盛り込まれている。

親子でも同意！

特に力を入れて伝えているのが「同意」の大切さ。子育てのシーンでも、子どもの体に触れる機会は一日に何度もある。そんな時に、「おしり拭いていい？」「いいよー」という同意を、親子の当たり前のやりとりに取り入れてほしいと伝えている。これは、子どもの意思を尊重するだけでなく、子ども自身の中に「自分の体は大事



※注釈1【包括的性教育とは】

二次性徴や生殖の知識にとどまらず、人間関係やコミュニケーション、ジェンダー平等や多様性の尊重といった、人権尊重を基盤にした国際的な指針に基づいた性教育。

※注釈2【NPO法人 YUMEMURA】

ここで産みたい！育てたい！そんなまちにする！を目標に、子育てを学ぶことを主軸にして、子育てに関わる人を支援する、様々な活動をしているNPO団体。

HP：<https://yumemura5.amebaownd.com/>



～講座風景～

少しずつ、学びの輪を広げたい

だ、誰も勝手に触ることはできないんだ」という意識を根付かせるために大切なことだ。この「自分の体は自分だけのもの」という意識は、他者の体を尊重する気持ち、さらには子どもを狙う性犯罪の予防にもつながっていく。「性教育は知識として教えるだけでなく、日常生活の中で自然に伝えていけることがたくさんある。そのために、まずは大人が楽しんで学べる場を作っていきたい」と意気込む。

「いつか、全ての人に包括的性教育が届く社会を目指していきたいです。周りの人に学びの輪を広げていくことで、一歩ずつ近づいていけると信じています」山岸さんの言葉には、人が自分を大切にし相手を尊重できる社会へのあたたかな希望が込められていた。

(文 人権・男女共同参画課)

- ◆また明日 君の笑顔を 見せてよね
- ◆それぞれの 個性誇りに ありのまま
- ◆ひとりじゃない あなたのことを 想ってる
- ◆えがおはね ひとのこころを つよくする
- ◆できなくても良い いつかはきっと できるから

晴嵐小学校 4年(当時) 足立 奏心さん
志賀中学校 1年(当時) 荒川 七彩さん
月輪 一般 島田 亜季子さん
下阪本小学校 2年(当時) 谷口 暉典さん
平野小学校 4年(当時) 西川 明歩さん

第48回(令和6年度)「わたしと人権」特選作品 標語の部

人権に関する相談窓口のご案内

大津市、大津地方法務局では皆さんからの人権に関わる相談窓口を設けています。

暴行や虐待、差別、インターネットによる誹謗中傷、モラル・ハラスメントなどによる悩み事がありましたらご相談ください。

お電話による人権相談窓口

「みんなの人権110番」

電話番号 0570-003-110 受付時間 平日8:30~17:15まで

「こどもの人権110番」

電話番号 0120-007-110 受付時間 平日8:30~17:15まで

※上記2つの窓口については、大津地方法務局に繋がります。法務局職員または人権擁護委員が対応します。

「人権擁護委員による相談」

※大津市 人権・男女共同参画課に繋がります。人権擁護委員が対応します。

電話番号 077-528-2791

受付時間 第1火曜日(祝日、年始を除く) 13:00~15:30まで

「大津市男女共同参画センターの相談」

※大津市が委託している専門の相談員が対応します。

電話相談 毎週木曜日(祝日を除く) 10:00~16:00まで

相談専用ダイヤル 077-527-5508

面談による人権相談窓口

「人権擁護委員による相談」

受付日時 第3火曜日(祝日を除く) 13:00~15:30まで

第5火曜日(祝日を除く) 10:00~11:30まで

相談場所 大津市浜大津四丁目1番1号 明日都浜大津1階

大津市 人権・男女共同参画課 相談室

問合せ先 077-528-2791 (大津市 人権・男女共同参画課)

「大津市男女共同参画センターの相談」

(大津市が委託している専門の相談員)

面接相談 毎週月曜日(祝日を除く) 13:00~16:00まで

毎週金曜日(祝日を除く) 9:30~12:30まで

予約ダイヤル 077-528-2615



人権イメージキャラクター 人KENまもる君 人KENあゆみちゃん

☆人権擁護委員とは…

人権擁護委員はその職務について法務大臣から委嘱された方々で、人権啓発活動や人権相談などを通じて地域で様々な人権擁護活動に取り組んでおられます。

あしがき

地域で活動している方の声を聞きたいというご意見を複数いただき、今号の特集では新しい試みとして、インタビュ記事掲載いたしました。身近なこんなことを取り上げて欲しい、といった要望や、ご意見・ご感想ございましたら、下記までお願いいたします。

〒5200047
(大津市浜大津四丁目1-1)
明日都浜大津1階
大津市 政策調整部
人権・男女共同参画課
(☎528-2791)
(mail: otsu1006@city.otsu.lg.jp)

大津市人権講座のご案内

大津市では、様々な人権課題について認識を深めることができるように、地域で人権・生涯学習の推進に取り組まれている大津市「人権・生涯」学習推進協議会連合会のご協力の下、毎年人権講座を開催しています。受講料は無料です。皆様からのご参加をお待ちしています。(事前申込制)

- 大津市人権講座日程
- 演題 「生命(いのち)を越すものはない」

講師 NPO法人KENTO 代表 児島 早苗 氏

日時 7月31日(木) 14:00~15:30

場所 大津市役所別館1階大会議室
 - 演題 映画「福田村事件〜関東大震災から100年、時代が逆流する〜」

講師 映画上映

日時 8月27日(水) 14:00~16:00

場所 生涯学習センター大ホール
 - 演題 「義父母の介護 ~ホンネ150%!キレイごとゼロ!超リアルな介護奮闘記!~」他

講師 翻訳家 エッセイスト 村井 理子 氏

日時 9月20日(土) 13:30~16:00

場所 ビアザ淡海大ホール

以降2026年2月まで毎月開催。詳しくは**大津市人権講座**で検索

申込方法

QRコードを読み込んで電子申請または下記お申込先まで「参加される講座」、「氏名」、「ご住所」、「ご連絡先」をお知らせください。

問合せ 申込先

大津市 教育委員会事務局 生涯学習課
TEL: 528-2635 FAX: 523-5735
Mail: otsu2403@city.otsu.lg.jp



「ともに育つ、まちのぬくもり」

便利さと効率が優先される現代社会の中で、人と人との関わりが少しずつ薄れてきているのを感じます。かつては当たり前だった「おかえり」「気をつけてね」といった声かけも、聞こえる機会が減り、子どもたちが地域の中で安心して過ごせる風景が、少し遠ざかっているように思えることがあります。

私は、学校教育に携わる立場として、またこの大津というまちに生きる一人の市民として、子どもたちが心穏やかに、そして誇りをもって自分らしく生きていける社会であってほしいと、切に願っています。

子どもたちは、家庭や学校だけでなく、地域の温かなまなざしの中で育ちます。ふとしたときに「見てくれている大人がいる」「自分を気にかけてくれる人がある」と感じられることは、子どもにとって大きな安心であり、自分を大切に思う心の土台になります。そしてそれは、人権を守られているという実感そのものでもあるのです。

あいさつを交わす、名前を呼んで声をかける、困っている子にそっと手を差し伸べる。そんな何気ない行動が、子どもたちの人権を守り、育む礎になります。特別なことではありません。一人ひとりの温かいまなざしが積み重なって、「このまちは自分の味方だ」と思える環境が生まれるのです。

子どもの笑顔は、地域の未来そのもの。この大津というまちで、地域がそっと手を差し伸べ、支え合いながら、子どもたちとともに歩んでいけたら——そんな願いを、静かに、けれど力強く、胸に抱いています。